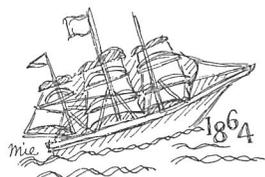


DOSHISHA REPORT



法人部

●2009年秋の叙位・叙勲

大学名誉教授岩山太次郎氏が瑞宝重光章を受章され、11月5日皇居において伝達式が行われた。また、女子大学名誉教授玉置日出夫氏が瑞宝中綬章を受章され、11月9日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●創立記念行事

リユニオン 11月8日 10時
今出川キャンパス

早天祈祷会

11月29日 7時

若王子山頂

創立134周年記念式

11月29日 9時

大学神学館礼拝堂

創立記念礼拝

11月29日 10時30分

クラーク記念館

クラーク・チャペル

大学

●文部科学省(学術振興会)戦略的創造

推進事業(CREST)「生命医科学部の研究課題2件採用」 9月17日

井原康夫教授は「精神・神経疾患の分子病態理解に基づく診断・治療へ向けた新技術の創出」領域、高橋智幸教授は、「脳神経回路の形成・動作原理の解明と制御技術の創出」領域における研究課題。

●実験動物慰霊式 10月28日

学術研究を深めるための実験実習により、やむなく犠牲になった動物たちの命を追悼するため初めて開催した。主催は環境保全・実験実習支援センター。

●リクルートセミナー

10月31日

学生がイメージする「よい企業」と、ビジネスパーソンが実感する「よい企業」は一味違うもの。取材経験豊富なプレジデント編集部が、各社協賛のもと、よりビジネスの現実に即した情報を提供するセミナーを明徳館(今出川校地)で開催した。主催はプレジデント社。

●DOSHISHA SPIRIT WEEK 2009

Autumn

11月25~7日

京田辺キャンパスでは応援団による演舞、講演会、同志社シンボルマークの展示、今出川キャンパスでは講演会と同志社再発見ツアーを実施した。主催はキリスト教文化センター。

●第36回外国文化週間

11月10・11、16、18日

今回は、ドイツ連邦共和国。映画祭、レクチャー+コンサートを京田辺ハローホールで開催。京都府民ホールALTIでもコンサートを開催した。主催は、言語文化教育研究センター。

●「関西4大学学長フォーラム」

11月22日

同志社大学、関西大学、関西学院大学、

立命館大学は、福岡国際会議場（福岡市博多区）において「世界を担う人材の創出―関西4大学の国際戦略」をテーマに学長フォーラムを開催。プログラムは、基調講演、在学生と講師によるトークセッション、関西国際空港相談役村山敦氏を交えた4大学学長によるパネルディスカッション。入試相談会も同時に開催した。読売新聞社共催。

●環境シンポジウム―理想とする2030年の実現に向けて

11月21・22日

大学と学生の共同により環境活動を展開している同志社大学、京都大学、慶應義塾大学、早稲田大学の環境団体の学生が、どのような社会を築くのか、築きたいのかを討論。多彩なパネリストが将来の社会のあり方についてディスカッションした。主催は同志社エコプロジェクト。

●第36回Neesima Room企画展

「公開講演会」

12月12日

テーマは「新島八重という人を語る」。講師は会津若松市立図書館野口信一氏と元社史資料室長の河野仁昭氏。社史資料センターが主催する企画展「新島八重の生涯―進取と矜持」の一環として開催。

●第45回全同志社「メサイア演奏会」開催

12月24日

京都コンサートホールにおいて、北原幸男氏の指揮、同志社グリーククラブ、同志社交響楽団ほかの参加により開催。主催は全同志社メサイア演奏会実行委員会、後援は学校法人同志社。

●新用地のキャンパス名称募集

12月、京田辺校地近郊の「京都府厚生年金休暇センター（ウエルサンピア京都）」

を取得。本学への売却方針が明らかになった今出川校地の北にある「京都市産業技術研究所繊維技術センター」用地。新たに加わる（予定）の二つのキャンパスの名称を在学生、卒業生、教職員から募集した。1月29日締め切り。新キャンパス名は大学ホームページで公開。

女子大学

●京田辺キャンパスグランドデザインに

基づく整備工事が完了

2009年の夏期休暇前から行なわれていた京田辺キャンパス中庭付近の整備

工事がこのほど終了し、一帯が広々とした憩いの空間に大変身した。正門から友和館を抜けるとプロムナード（並木道）が姿を現し、並木道を抜けた中庭にはシンボルツリー（ドイツトウヒ）を中心とした円弧状の客席や東屋、などらかな丘などで構成された憩いと交流の場が設けられた。また、グリーンチャペル付近も整備され、今後は屋外礼拝などに使われる予定。生まれ変わった京田辺キャンパスにぜひ足をお運びいただきたい。

●第59回シエイクスピア・プロダクション

11月6・7日

今出川キャンパス・栄光館で第59回公演 *A Midsummer Night's Dream*（『夏の夜の夢』）を上演した。09年4月、英語英文学科の今出川移転に伴い、19年ぶりの栄光館での公演。学生たちにとっては全てが一からのスタートで、試行錯誤の繰り返しであったが、終了後は「感動的でした」「来年も観にきます」という声や、卒業生からは「懐かしく昔を思い出した」、在学生からは「同じ舞台に立ちたい」という感想が寄せられた。同学科4年次科目「Shakespeare Production III」

受講生による本公演は、3年次からの作品研究を含め、約2年間の集大成となるものでキャスト、助監督、広報、照明、音響、衣装、メイク、セット、字幕まで、学生たちの手によってつくり上げられる。(巻頭グラビア参照)

●ホームカミングデー2009

11月8日

卒業生が年に一度母校に帰るイベント。開会礼拝などに続き、ハーブ研究家のベニシア・スタンリー・スミス氏を招き、講演いただいた。ベニシア氏のイギリス貴族としての生い立ちから、夢を追いかけて現在京都・大原で自然と共生して生きるライフスタイルがスライドを交え紹介され、来聴者は熱心に聴き入っていた。午後からは、笠間浩幸現代こども学科教授による砂場でのワークショップや、栄光館のパイプオルガンと瞑想室の見学などもあり、800人を超える来場者が母校での懐かしいひと時を楽しんだ。

●第3回 奈良県立医科大学との学術交流に関する包括協定に基づくシンポジウム「チーム医療のあり方を考える」

12月5日

京田辺キャンパスで開催。3回目となつた今回のテーマは、「チーム医療のあり方を考える」がん化学療法と緩和医療を中心にく。参加者の関心の深いテーマでもあり、会場からも多くの質問が出され、活気あふれるシンポジウムとなった。基調講演は、「がん薬物療法を担う「臨床腫瘍学」におけるチーム医療の重要性」と題して奈良県立医科大学の神野正敏准教授が行った。その後、シンポジストとして高橋正裕奈良県立医科大学助教、中西弘和本学薬学部准教授、木村道子奈良県立医科大学附属病院看護部看護主査、岩川裕美滋賀医科大学附属病院栄養治療部副部長がそれぞれ専門分野の視点から発表を行い、総合討論を行った。参加者約230人。

高等学校

●ウエスリー交換留学受入

9月12～26日

夏休みに生徒9人が引率教員とともに

オーストラリアのウエスリーカレッジに短期留学(7月24日～8月10日)を行ったが、その際にホームステイをした現地の子家庭の生徒9人が、引率教員2人と2学期の授業や文化祭が行われている本校にやってきた。再会を喜んだ彼らは授業や文化祭の準備、体育祭、京都観光などで楽しく過ごした。

●ようこそ先輩

10月2日

社会の諸分野で活躍する先輩(卒業生)を講師に招き、2年生の進路選択の一手にしようという試みである。年齢は大先輩から20歳代まで。職業も公認会計士、報道関係者、税理士・不動産鑑定士、庭師、小説家、観光施設業、スポーツトレーナー、弁護士と幅広い講師陣から生きた話を聞くことができ、充実した取り組みとなった。

●人権学習

10月27日

3年生は「働くこと・生きること」、「ヒロシマの心」、「視覚障害者の現状と課題」というテーマでそれぞれ担当の講師からお話を聞き、2年生は映画「プタがいた教室」を鑑賞、1年生はアジアからの留学生を招き交流を深めた。

●クリスマス礼拝

12月11日

本年もチャペル未完成のため校内放送による礼拝をもち、本井康博大学神学部教授を説教者に招いてキリストの降誕を祝うとともに、献金を行った。献金は止揚学園はじめ諸施設等に届けた。

●止揚学園訪問

12月15日

クリスマス献金の一部を持って訪問し、学園内見学、餅つき、昼食の後、クリスマス飾り付け、学園でつくっている製作品の包装作業等を通じて交流を深め、心の平安のうちにひと時を過ごすことができた。

●岩倉キャンパスクリスマス

12月18日

同志社小学校アリーナにおいて、本校ホザナコーラス部、管弦楽部、選択音楽受講生および同志社小学校聖歌隊の奉仕で音楽中心のクリスマス礼拝を行い、地元の方々も多くご参加いただいた。

香里中高

●中1技術家庭科見学会

7月13日

リーガロイヤルホテルにてマナー講習

会を行った。

●中2修学旅行

9月15～18日

北海道函館を中心に実施した。函館ではハリストス正教会、元町教会、外人墓地、旧公会堂などとともに「新島襄海外渡航乗船之処」碑を訪れた。また、白老ポロトコタンではアイヌの伝統文化や歴史に触れた。今年是小樽で班別自主研修を行い、小樽運河・伝統工芸館・金融史料館・ヴェネツィア美術館など、班ごとに事前学習で計画したルートを廻った。コース別体験学習はラフティング、フィッシングとアイスクリーム作り、ジャガイモ掘りとサイクリング、シルバー・アクセサリーとアイスクリーム作り、革細工と草木染めの5コースに分かれて行った。

●中1技術家庭科見学会、社会科フィールドワーク

10月23日

最初に「みやこめっせ」で、京都の伝統工芸の展示を見学した。その後、班に分かれてフィールドワークを行った。フィールドワークは二条城、金閣寺、東福寺、清水寺、広隆寺の五つのコースから一つを選び、班ごとに事前に計画したル

ートで行った。

●文化祭

10月30日～11月2日

今年は新型インフルエンザの流行に伴い、感染による拡大を防止するため、一般来校者を制限し、生徒と保護者のみでの開催となった。毎年恒例となっていたPTAによるバザーも中止した。

文化祭は保護者が多数参加する中で行われ、校舎の壁を利用したモザイク壁画や教室での展示、香真館での演技などクラスごとに工夫された作品が見られた。文化系クラブの展示などにも力作が見られた。中庭では各クラブや有志による模擬店、食堂ではPTAによる模擬店も盛況であった。

●クリスマスイルミネーション点灯式

11月13日

中庭にツリーをイメージしたイルミネーションを点灯し、点灯と同時に、聖歌隊の歌声が学校に響きわたった。

●中3リベルタス

11月18日

総合学習「リベルタス」ではそれぞれが将来のめざすべき方向を考えるために、18種20人の社会人を招き特別授業を行った。

2時間の授業の中で、生徒は希望により、2種類の職業を選択して授業を受けた。今年、商社マン、プログラマー、経営者、弁護士、接客業、小学校の先生、技術者、デザイナー、ゲームクリエイター、薬剤師、警察官、カウンセラー、通訳、経営コンサルタント、スポーツメーカー、映像プロデューサー、アナウンサー、保育士の皆さんに來校していただいた。

●中1福祉体験授業

11月25・26日
ボランティア団体から福祉体験インストラクターを招き、心のバリアフリーを目指して車椅子の操作・介助の体験学習に取り組んだ。

車椅子の操作方法を学んだ後、生徒4人と保護者1人がチームを組み、協力して校内を周回しながら介助を体験した。階段や坂道、段差、石畳などでは介助者が息を合わせながらの体験となった。この体験を通して困っている人への介助やバリアフリー社会について考えることができた。

女子中高

●第62回京都府高等学校総合体育大会 女子学校対抗の部 V5

5月16日、17日、府内の各学校や体育館で開催された総体で、各クラブの活躍によって学校対抗で5年連続の総合優勝を達成した。94年以降の15年間のうち、11回の総合優勝の偉業(?)を達成中。

●マンドリンクラブ

近畿高校ギター・マンドリン音楽祭(6月、千里金蘭大学佐藤記念講堂)にて金賞と大賞を受賞。全国高校ギター・マンドリンフェスティバル(7月、吹田文化会館)では朝日新聞社賞を受賞した。受賞曲はともに「日本スケッチ第4楽章祭り」(貴志康一作曲、石村隆行編曲)で、指揮は高校3年生の花田和奈さん。

●修養会

9月19・20日
同志社びわこリトリートセンター
中学2・3年生は38人が参加し、関西学院中部宗教主事の福島旭先生を講師に迎え「新しい自分を見つけよう」をテーマに開催。福島先生の指導で作業あり、

クイズあり、体を動かすことありで、充実した2日間であった。

高校生は64人が参加し、啓明学院高中教主任の指宿力先生を講師に迎え「ともに生きる」をテーマに開催。グループワークやキャンドルライトサービスなどを交えて主題についてともに考え、語り合った。

●礼拝

2学期は北白川教会の佐伯勲牧師を講師に迎えた。特別の礼拝は次の通り。

・9月16日・18日 本校の卒業生でプロフィギュアスケーターの太田由希奈さんを招き、「わたしと同志社」と題して奨励。

・宗教改革記念礼拝 10月29日

・講師：日本ルーテル教会小泉潤牧師

・奨励題「平和への夢」

・収穫感謝の日礼拝 11月13日

・講師：桜井希中学校聖書科教諭

・奨励題「平和とは何だろうか」

・同志社創立記念礼拝

・講師：同志社教会望月修治牧師

・中学 11月27日

・奨励題「はじまりの時」

高校

11月30日

奨励題「心によって見る」

・アドベント礼拝

12月8日

講師…浪花教会秋山盛芳牧師

奨励題「時を待つ」

・このほか11月2日～6日の秋季宗教教育強調週間には、毎日特別に外来講師を招き、それぞれに心に残るお話を聞いた。

●収穫感謝の日 施設訪問

11月13日

全校生が家庭から持ち寄った野菜・果物や献金を、平安徳義会、桃山学園などの老人ホームや児童養護施設8カ所に届け、お年寄りや児童たちと交流した。訪問にはYWCA、管弦楽、ハンドベル、フレンドリーコーラス、ソフトボールなどのクラブ員を含め200人近くが参加した。

●国際交流

・異地域交換プログラム 11月9～13日

アメリカ、アイスランド、マレーシアから高校生3人を受け入れ、高1のクラスとともに授業を受け、生徒たちと交流した。

・東アジア青少年大交流計画

12月10・11日

昨年につづきAFS日本協会が実施した「21世紀東アジア青少年大交流計画」(高校生600人、引率教師60人が来日。

(高校各地を視察・見学し、ホームステイと学校通学を体験)の呼びかけに応えて、オーストラリア、インドネシア、ニュージーランド、マレーシア、タイの高校生5人を受け入れた。中3の授業への参加をはじめ朝のクリスマス・ページェントの讃美歌の練習に参加し、また本校生徒とも積極的にコミュニケーションをはかった。

・残念なことに夏休み中に予定されていたイギリス(ケンブリッジ・ベルススクール)とオーストラリア(アデレード・アネスリーカレッジ)の語学研修はインフルエンザ流行の影響により、中止された。

●近畿高等学校総合文化祭(京都大会)

11月14・23日

近畿の代表校が演劇、合唱、器楽・管弦楽、美術・工芸、放送文化など17の部門に分かれ市内各会場で発表を行った。本校の文化系クラブが発表に、また実行委員会の役員として運営に加わった。

●「インフルエンザ」余話 その2

前号にも記述したとおり、全国で新

型・季節型のインフルエンザが猛威を振るい、本校でも1学期から一斉休校、学校行事の延期・中止が相次いだ。9月以降、本格的なパンデミック状態に突入。確認できた罹患生徒数は中学・高校合わせて9月177人、10月223人、11月126人となり、7、8月を加え11月末現在で528人、在籍生徒の34%以上となった。学級・学年閉鎖が相次ぎ、10月6日～9日の4日間、高校は学校閉鎖の止むなきに到った。この影響で中間試験では合同礼拝や中高別の多人数の礼拝を取りやめてHR礼拝に切り替えた。生徒たちが1学期から準備や練習に取り組んできた学園祭も、体育祭が中止となり、文化祭のイベントも内容を一部取りやめざるをえなかった。「女子部バザー」も父母の会の寄贈品・製作品のみの販売となった。連日対策会議が開かれ、不測にも緊急連絡ホームページや昨年から加入したNTTのフェアーキャスト(各家庭への緊急連絡システム)が大活躍した。1月は冬休みを2日間短縮して1月6日から授業を開始した。

国際中高

●編入学試験

7月4日
海外から帰国する中学1年生から高校2年生までの生徒を受け入れるための編入学試験を実施した。

●アラバマ州高校生との交流会

7月24日
ダイキン工業が招待したアラバマ州の高校生14人が来校し、本校生徒と交流の時間を持った。

●7月入学生入寮日

7月26日
高校の新生で、両親がまだ海外に在住中もしくは、通学困難な遠隔地にいる生徒たちのために用意された学寮に新入寮生を迎えた。

●7月入学式

7月27日
帰国生徒のための7月入学式を実施した。今年度も中学生15人、高校生9人の新しい仲間を迎えた。また31日まで、2学期からの授業に対応できるように授業の補講を実施した。

●帰国生徒対象学校説明会

8月1日
帰国生徒を対象とした学校説明会を実施した。

施した。

●高校生バンド祭

9月12日
文化祭の出場バンド予選を兼ねた、高校生によるバンド祭が開催された。

●学園祭

9月23～28日
本校最大の行事である学園祭を開催した。23日は中学校、24日には高校がそれぞれ体育祭を、27日には外来のお客様を迎え、文化祭を開催した。

●校内英語試験

10月16日
在校生全員がTOEFL、実用英語検定のいずれかを選択し受験する校内英語試験を実施。中学1年生はインフルエンザによる学年閉鎖のため実施を見送った。

●人権強調週間

10月23～29日
人権について、礼拝とホームルームで集中的に学ぶ週間を持った。28日には午後の時間を使い、中学・高校ともに全校生徒による集会を持った。

●中学1年生・3年生体験学習

10月30・31日
中学1年生が「花脊山の家」で、中学3年生が知多半島で体験学習を実施した。

●秋季宗教週間

11月2～6日
週中外来の先生を迎え、礼拝を守った。4日には「宗教改革記念礼拝」をおこなった。

●生徒会選挙

11月11日
中高ともに1、2年生から新しい生徒会執行部を選出し、生徒会が新体制となった。

●校外学習

中学、高校ともに「呉竹文化センター」で「落語」を鑑賞した。

●創立記念礼拝

11月30日
同志社の創立を思い、記念の礼拝を守った。

●高校クリスマス礼拝

12月2日
クリスマスに向けて、高校生が特別礼拝を守った。

●高校12月入学試験

12月9・10日
帰国生のための入学試験を、京都、シンガポール、ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドンで実施した。

中学校

●夏季キャンプ

1年生（全員参加）は、7月21日～29日にかけて4期、各期2泊3日で本校由良キャンプサイト（京都府宮津市）で海のキャンプを行い、クラスの仲間との親睦を深めた。2年生（自由参加）は7月21日～8月2日にかけて4期、各期3泊4日の日程で北アルプス唐松岳登山と梅池自然園を訪ねる山のキャンプを行った。雄大な自然を満喫することができた。

●体育祭

10月1日

前日からの雨で実施が危ぶまれたが、グラウンドの整備等を早朝から行うことで無事開催することができた。各学年クラスの縦割り8分団対抗によるトラック種目や綱引き、棒倒し、騎馬戦、ムカデリレー等、数多くの種目で白熱した競技を展開した。最終種目の分団対抗リレーではグラウンド全体が一つになり、一生懸命走ってバトンをつなぐ生徒と声をかかして応援する生徒が一体となって盛り上がりを見せた。

●学園祭

10月6・7・9日

1年を通じて最大行事の学園祭は、京都会館で2年生行事、3年生行事（演劇フェスティバル）を2日間にわたり舞台発表した。ステージに立つものから熱いメッセージが観客に伝わり、魅力ある舞台発表となった。最終日には中学校を会場に、1年生の各種発表や文化系クラブを中心とした展示発表、生徒会主催のさまざまな行事が開催された。フィナーレには各分団が踊りとパフォーマンスを競う「輝舞祭」とフォークダンス等が行われた。

●秋季宗教人権週間

11月2～6日

4日「やり直しの隣人」

喜連自由教会 岡山牧人牧師

5日「神の優しさに包まれる」

梅花教会 難波信義牧師

6日「かえがえのない『ピース』」

鎮西学院高等学校聖書科

鐵口宗久教諭

●人権行事

11月13日

1年生は映画鑑賞、午後は各クラスでソーシャルスキルトレーニング。2年生は映画鑑賞、午後はさまざまなコースに

別れての体験学習。3年生は終日分科会形式で学内、学外のさまざまなコースに分かれて体験学習を行った。全校生徒が多様な観点から人権について学び、理解を深めることのできた一日であった。

●収穫感謝礼拝・施設訪問

11月20日

ハンドベル・ピースリンク部員、生徒会執行委員が西陣児童館を訪問し、朝の収穫感謝礼拝で持ち寄った果物を届け、ハンドベル演奏やゲームを通して交流のひとつときを持った。

●クリスマス燭火礼拝

12月18日

2学期終業式に合わせてクリスマス燭火礼拝を全校で守った。夕刻のクリスマス燭火礼拝には保護者や一般の皆さんが大勢参加され、クリスマスを迎える喜びを分かち合った。

●スキーキャンプ

12月22～26日

●沖縄研修旅行

12月22～25日

3年生（自由参加）は、長野県志賀高原一の瀬スキー場でのスキーキャンプ（4泊5日）と沖縄での平和学習を中心とした研修旅行（3泊4日）を行い、それぞれ思い出に残る楽しい日々を過ごした。

小学校

●1年生宿泊体験学習

7月18・19日

1年生にとって初めての宿泊体験学習を行った。ふだん慣れ親しんだ学校で協力しながら食事や布団を運んだ。2日目には、水遊びも加わり子ども達の歓声がこだました。ゆとりのある時間の中で身の回りのことにじっくりと取り組んだ2日間だった。

●5年生宿泊体験学習

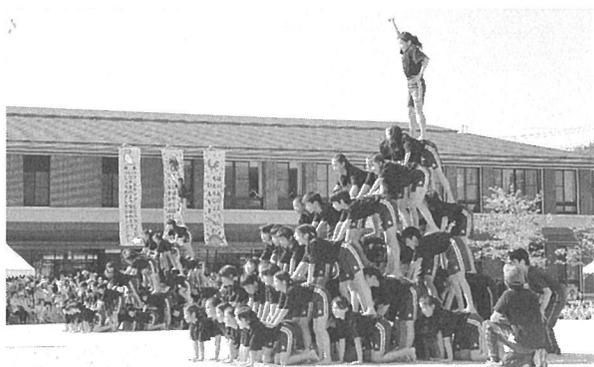
8月24～28日

新島襄ゆかりの地である北海道を訪れ良心教育を考える機会とした。1、2日目は、長沼町での農村体験を通し、地元の人との交流を深めた。3日目は乗馬などを体験し、4日目に、「新島襄海外渡航乗船之処」碑を訪れ、当時の新島先生の思いを考えた。5日目には函館水産販売所を見学し北海道を満喫した。

●スポーツフェスティバル

10月4日

大壁画と懸垂幕を完成させ、今年もスポーツフェスティバルがはじまった。雨で1日延期になったが、当日は秋晴れのもと歓声がこだました。組み体操では60人



60人ピラミッドも成功

ピラミッドも成功させた。保護者参加型の種目では多くの保護者が参加した。6年生を筆頭に運営活動も自主的に行なった。最後は全員が参加し同志社チアードしめくくった。

●3年生宿泊体験学習

10月19～21日

3年生がハチ高原へ宿泊体験にでかけた。新型インフルエンザの影響により延

期していた計画で、今回の合宿をととも楽しみにしていた。登山を始めナイトハイク、木登り、キャンドルサービス、クラフト作りなどさまざまな体験学習を実施し有意義な宿泊となった。

●チャレンジウィーク

10月19～24日

各学年がそれぞれの課題に挑戦するチャレンジウィークを実施した。学年ごとに英語劇や、30人31脚、演劇などに集中して取り組んだ。土曜日には交流会を開催し、保護者も交え、他の学年の成果を見学した。チャレンジすることの大切さや友達と協力することの大切さを学んだ1週間だった。

●同志社タイム

11月2日

大学卒業生の土佐ノ海関を迎え、同志社タイムをもった。当日は相撲の文化について実物のまわしや座布団などを見せながらのお話をしていただき、その後、実際に子ども達と対戦していただいた。子ども達は力士の力強さにびっくりした様子だったが、真剣にたちむかっていた。今回は同志社スポーツユニオン名誉会長、京都相撲連盟会長を始め多くの皆さんのご協力で実現した。



子ども達の挑戦を受ける土佐ノ海関

● ワイルドローパーフェスティバル

11月7日

— 高学年の児童からなる児童会の各委員会が、自分たちの委員会活動を劇やスライドなどで全校生に紹介した。その後4年生をリーダーとした異年齢の縦割り集団で、各委員会が設営したブースを廻ってクイズなどを楽しんだ。

● 読書週間

11月9～13日

教員による本の読み聞かせコーナーを校内のさまざまな場所に設け、休み時間に児童は自分の好きなコーナーを選び楽しんだ。クラスで読書の時間を増やす取り組みや、講師を招いた特別授業など本に親しむ1週間となった。



本の読み聞かせ特別授業

● 収穫感謝礼拝、点灯式

11月20日

午前中は、収穫感謝礼拝を全校で開催し、家庭から持ち寄り寄ったり、自分たちで収穫した作物などを捧げた。午後からは、保護者後援会である明心会の協力のもと、点灯式までの間、多くのイベント活動が催され、子ども達は大いに楽しんだ。日没後、保護者も参加し、チャペルコートでクリスマスツリーの点灯式が厳粛な雰囲気のもと行われた。

幼稚園

● お泊まり保育

7月3・4日

日頃、生活を共にしている年長組の園児が、幼稚園で宿泊を体験した。皆の前で出しものを披露したり、スイカ割りを楽しんだ後、夜の商店街のお祭りに参加し、地域の方との交流を深めた。園児と教員だけで一夜を共にし、誇らしげな顔で家に帰った。

● 開園記念お楽しみ会

7月11日

幼稚園開園を記念し、保護者の企画でお楽しみ会を開催した。園児達が楽しめ

る輪なげやボーリングをしたり、大きな舞台の上では、カプラ（木のおもちや）の専門家と保護者が共に作ったカプラナイアガラを完成させるなど、全園児の親子が参加できる楽しい時間だった。

●お遊戯会

7月15・16日

保育活動の中で園児達が楽しんで取り組む歌やリズム表現などを、保護者に見せる機会となった。園内の舞台を少し大きく拡大し、普段の様子を全園児が発表した。

●夏期保育

8月25・27日

夏休みの保育として久し振りに園児達が集まり、水遊びや絵の具遊び、制作等、異年齢保育（縦割り保育）を楽しんだ。

●ざぐる狩り

10月5日

1年の中で園児たちが楽しみにしているざぐる狩り。今年もたくさんの実をつけた木の周りに全員が集まり、園長や教員が実を取る姿を見ながら、自然に「頑張れ」と応援する声まであがった。皆で共有できる幼稚園ならではの姿だった。

●遠足

10月6日

年少組から年長組までの全園児が大型バスに乗り、「琵琶湖博物館」（滋賀県草



ざぐる狩り

津市）まで行った。異年齢の友だちと話をしながらのバスもあつという間に到着。広い館内では学年毎に興味のあるコーナーを見学し、見て触れる施設を楽しんだ。

●運動会

10月17日

綺麗に整地された女子中学校・高校のグラウンドを今年も借用し、広々とした

なか、玉入れやダンス、保護者対抗なわとびなど楽しんだ。年中・年長組混合でのリレーは、一人ひとりが力いっぱい走り、観客から応援の声があがった。全園児が少しずつ練習を重ね、保護者にも協力してもらった棒を持つダンスは、学年毎にカラーを合わせたTシャツと揃い統一感があつた。

●チャペルアワー

11月4日

キリスト教文化センター主催の「チャペルアワー」で園長が奨励を行った。その中で、年長組が聖歌隊として参加し、初めて入るクラーク館内で讃美歌を歌った。神聖な場所での体験に緊張した様子だった。

●秋バザー

11月7日

インフルエンザの流行で延期となっていた秋バザーが、例年とは場所を変えて園内で開催した。保護者手作りの看板が玄関に飾られ、宝つりや、輪なげを親子で楽しんだ。寄贈品のバザーでは手作り



チャペルアワー

商品もたくさん並び、在園児や卒園児が家族と参加した。

●野点茶会

11月16日

保育の一貫として行っているお茶の稽古で、日頃お世話になっている皆さんに子ども達から感謝の気持ちとして、お菓子をお運びし、お茶を点ててふるまった。同志社礼拝堂の石畳につまづいたり、お菓子を落としたりするこ

つたが、たくさんのお客様に来ていただいて無事に終える事ができた。

●クリスマスツリー点灯式

11月26日

園内にあるもみの木を囲んで、クリスマスツリーの点灯式がおこなわれた。

●バプテスト病院訪問

12月1日

年長組がバプテスト病院を訪問し、クリスマスマスの降誕劇を演じた。その後、歌を歌って交流をした。



バプテスト病院訪問

英語版

『マンガで読む新島襄 自由への旅立ち』

を読者の皆さんにプレゼントします。

- ご希望の方は、巻末の綴じ込みハガキに「住所」「お名前」「マンガ希望」と記入のうえ、50円切手を貼り、5月31日(当日消印有効)までにお申し込みください。
- 抽選のうえ、10人の皆さんにプレゼントします。
- 抽選の結果は発送をもってかえさせていただきます。

